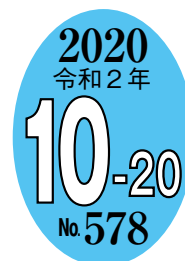




地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけします。

景況調査レポート



上高井郡 高山村
毛無峠から破風岳を望む

高山村と群馬県嬭恋村^{みな}を跨ぐ県境の毛無峠。標高1823mの赤土がむき出しの荒涼とした峠ですが、眺望の良い絶景スポットです。この峠を境に長野県側に降った雨は日本海へ、群馬県側は太平洋へと流れ下る分水嶺も、最近はラジコングライダーの聖地となっています。この場所に半世紀前まであった小串鉾山に最盛期は2千人以上が暮らし、生産された硫黄が須坂駅から送り出され、日本の化学工業を支えていたとは驚きです。

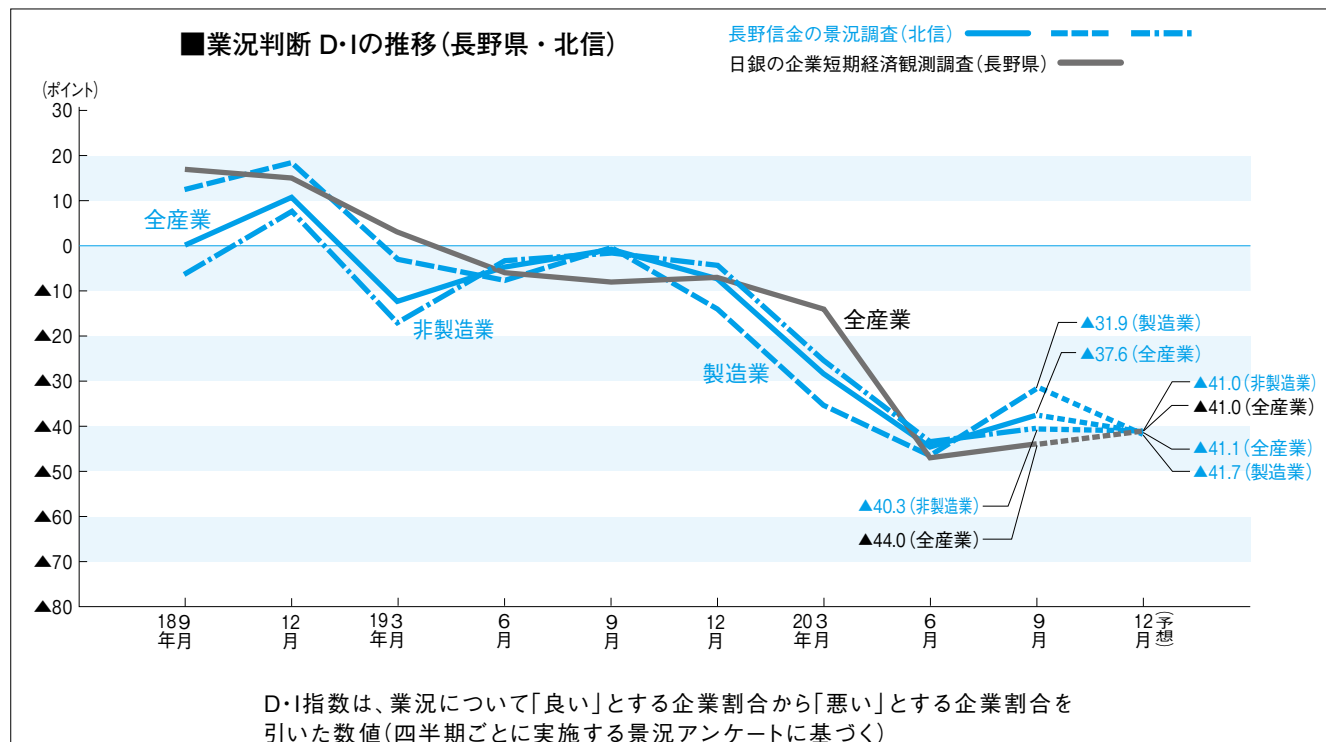
- 長野しんきん景況調査レポート 2
- 企業アンケート 新型コロナウイルス感染症 No.2 ① 6
- 生活者アンケート 新型コロナウイルス感染症 No.2 9
- 北信濃 江戸時代の風景 (74) 伊能忠敬、稲荷山宿から善光寺宿へ 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラー
にてご覧いただけます [長野信用金庫について](#)



景況調査レポート 概況 (第181回景況アンケート調査)

◆長野県北信地区◆2020年7～9月期…景気の現状◇2020年10～12月期…景気の見通し



全産業▲45 → ▲38 製造業・非製造業ともに若干の改善

2020年7～9月期の業況判断D・Iは、全産業で7ポイント改善して▲38となりました。製造業は15ポイント改善の▲32、非製造業も4ポイント改善の▲40です。

2020年10～12月期の全産業の業況判断D・I(予想)は、3ポイント悪化の▲41となりました。

◆北信地区の7月～9月期の業況判断D・I

	前期	今期	来期(予想)
全産業	▲45	→ ▲38 (7ポイント改善)	→ ▲41
製造業	▲47	→ ▲32 (15ポイント改善)	→ ▲42
非製造業	▲44	→ ▲40 (4ポイント改善)	→ ▲41

非製造業▲44 → ▲40 全業種が改善

非製造業の業種別業況判断D・Iは、建設業が▲15(前期比+1ポイント)、卸小売業が▲48(同+9ポイント)、

◆非製造業の業種別業況判断D・I

	前期	今期	来期(予想)
非製造業	▲44	→ ▲40 (4ポイント改善)	→ ▲41
建設業	▲16	→ ▲15 (1ポイント改善)	→ ▲6
卸小売業	▲57	→ ▲48 (9ポイント改善)	→ ▲59
サービス業	▲71	→ ▲70 (1ポイント改善)	→ ▲75

サービス業が▲70(同+1ポイント)となり、全業種が改善しています。

◆売上高D・Iと収益判断D・I

	売上高D・I(「増加」-「減少」)		収益判断D・I(「増益」-「減益」)	
	前期	今期	前期	今期
全産業	▲43	→ ▲15(改善)	▲46	→ ▲23(改善)
製造業	▲47	→ ▲18(改善)	▲45	→ ▲33(改善)
非製造業	▲42	→ ▲13(改善)	▲46	→ ▲18(改善)

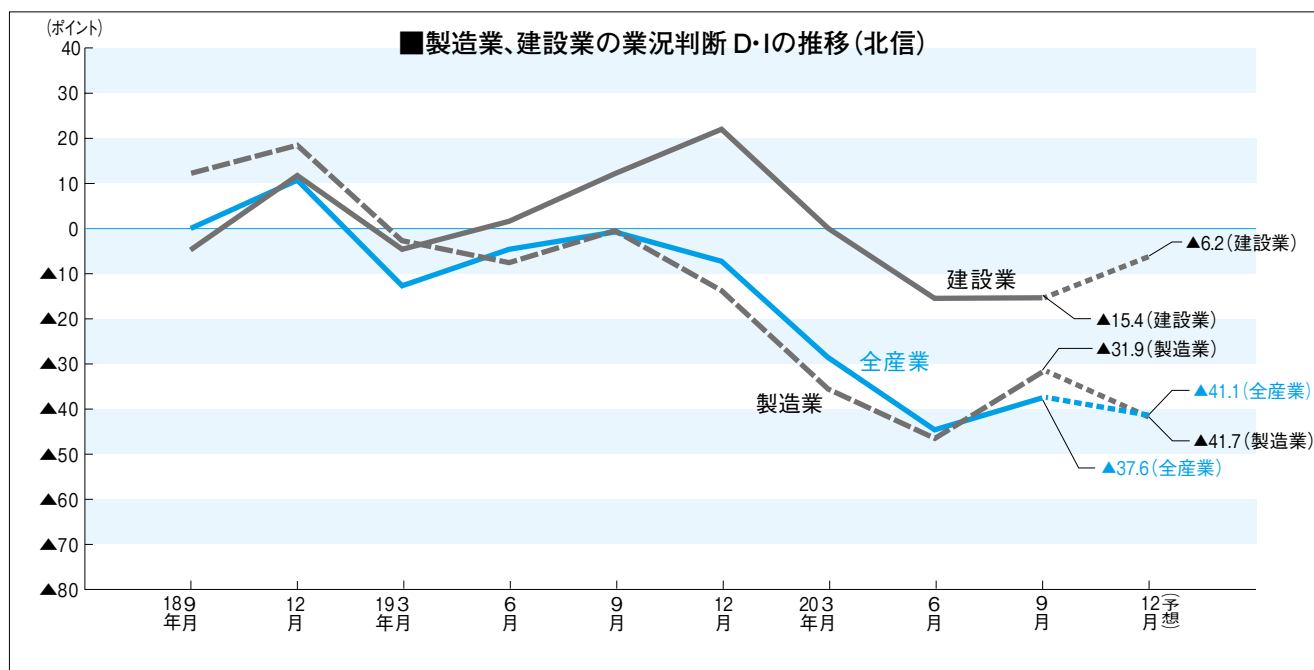
●北信地区の業況判断D・Iの推移

	2019年12月	2020年3月	6月	9月	12月(予想)
全産業	▲7.1	▲28.4	▲44.6	▲37.6	▲41.1
製造業	▲14.0	▲35.4	▲46.5	▲31.9	▲41.7
非製造業	▲4.1	▲25.2	▲43.7	▲40.3	▲41.0

[調査要領]

●調査実施……2020年9月
●調査対象企業(回収)
製造業……72社
建設業……65社
卸小売業……46社
サービス業……43社

合計……226社
●回収率……86.6%
●従業員規模
30人未満……74.3%
●分析…D・I判断指数
を中心に分析



製造業の景況

15%改善して▲32に、来期は悪化の予想

製造業の7～9月期の業況判断D・Iは▲32で、前期(▲47)に比べ15%改善となりました。10～12月期は今期より10%悪化の▲42の予想です。

	(前期)	4～6月期	▲47
◆業況判断D・I	(今期)	7～9月期	▲32
	(来期)	10～12月期	▲42(予想)

◇業種別業況判断D・I

改善	食料品・金属加工・一般機械・電気機械・自動車部品・精密機械
----	-------------------------------

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…▲33 (12%改善)

「増益」割合 前期 11% → 11% (横ばい)

「減益」割合 前期 56% → 44% (12%減少)

◆現在の採算状況…横ばい

「利益確保」 前期 25% → 28% (3%増加)

「収支トントン」 前期 38% → 36% (2%減少)

「赤字」 前期 37% → 36% (1%減少)

企業からのコメント

☆★スーパー関係に納品している業者の業績は良いようだ。観光売場のみにこだわっていた業者との差が出ている。(そば)

☆★コロナの影響による販売減は、一時期より改善したように思う。原材料価格の上昇は今年も続いており、収支面で不安がある。(農産物加工)

★梱包材は中身ありきの商品のため、コロナ禍で業界全体が危機感をもっている。(段ボール)

建設業の景況

1%改善して▲15に、来期は改善の予想

建設業の7～9月期の業況判断D・Iは▲15で、前回(▲16)に比べ1%改善しています。10～12月期は今期より9%改善の▲6の予想です。

	(前期)	4～6月期	▲16
◆業況判断D・I	(今期)	7～9月期	▲15
	(来期)	10～12月期	▲6(予想)

◇業種別 総合建設

前期 +33 → ▲10 (43%悪化)

土木工事 前期 ▲8 → +9 (17%改善)

建築 前期 ▲35 → ▲14 (21%改善)

各種設備 前期 ▲25 → ▲31 (6%悪化)

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…▲6 (16%改善)

「増益」割合 前期 11% → 17% (6%増加)

「減益」割合 前期 33% → 23% (10%減少)

◆現在の採算状況…悪化

「利益確保」 前期 49% → 45% (4%減少)

「収支トントン」 前期 46% → 45% (1%減少)

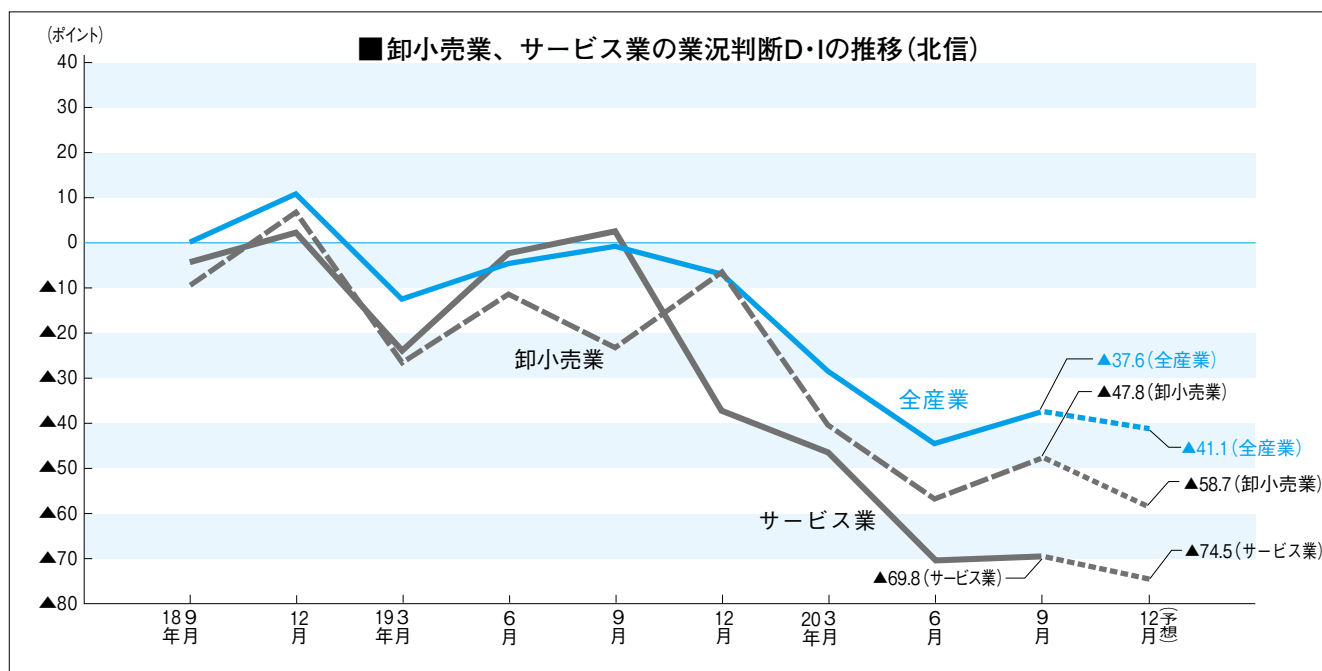
「赤字」 前期 5% → 11% (6%増加)

企業からのコメント

★本来であれば土木工事関係は活気づく季節だが、新型コロナウイルスの影響か、昨年の台風19号の後遺症か、いまひとつ動きが鈍い。(土木工事)

☆顧客自身がコロナ禍で家にいる時間が長くなったためか、リフォームの相談が増加している。

★☆一時期、住宅展示場への来場者は皆無であったが、少しずつ増加してきている。(以上一般建築)



卸小売業の景況

業況は9期改善の▲48、来期は悪化の予想

卸小売業の7～9月期の業況判断D・Iは▲48で、前回（▲57）に比べ9期改善しました。10～12月期の業況判断D・Iは11期悪化の▲59の予想です。

◆業況判断D・I	（前期）	4～6月期	▲57
	（今期）	7～9月期	▲48
	（来期）	10～12月期	▲59（予想）

◇業種別	卸売業	前期	▲22 → ▲26（4期改善）
	小売業	前期	▲81 → ▲63（18期改善）

◆収益判断D・I（「増益」－「減益」）…▲28（24期改善）

「増益」割合	前期	9% → 11%（2期増加）
「減益」割合	前期	61% → 39%（22期減少）

◆現在の採算状況…増加

「利益確保」	前期	32% → 35%（3期増加）
「収支トントン」	前期	41% → 35%（6期減少）
「赤字」	前期	27% → 30%（3期増加）

企業からのコメント

- ★☆☆単価高で売上は良いが、利益がついてこないため薄利販売が続いている。（青果卸）
- ★☆☆コロナの影響で人の移動がなく、手土産、進物の動きが鈍い。自家用消費は好調。（和菓子製造販売）
- ☆8月～9月前半の猛暑で、エアコン等の販売が順調だった。（家電販売）
- ☆自動車販売は一時、停滞していたが、お盆明けから問い合わせが増えている。（自動車）

サービス業の景況

業況は1期改善の▲70、来期は悪化の予想

サービス業全体の7～9月期の業況判断D・Iは▲70で、前回（▲71）と比べ1期改善しました。業種別では、全業種が悪化しています。10～12月期の業況判断D・I（予想）は5期悪化の▲75です。

◆業況判断D・I	（前期）	4～6月期	▲71
	（今期）	7～9月期	▲70
	（来期）	10～12月期	▲75（予想）

◇業種別業況判断D・I

サ ー ビ ス	前期	▲63 → ▲75（12期悪化）
輸 送	前期	▲88 → ▲78（10期改善）
タクシー	前期	▲100 → ▲100（横ばい）
運 輸	前期	▲83 → ▲71（12期改善）
外 食	前期	▲75 → ▲56（19期改善）
観 光	前期	▲100 → ▲100（横ばい）
不 動 産	前期	▲30 → ▲38（8期悪化）

企業からのコメント

- ★コロナ禍の第2波の拡大により、夜間を中心に利用客が減少傾向にある。（タクシー）
- ☆☆Go Toトラベルにより、良くなっている旅館とそうでない旅館がはっきり分かれた。（日本旅館）
- ★山田温泉地区は、コロナウイルスの影響で集客に苦しんでいる。（温泉旅館）
- ☆資産運用の一環として、投資用不動産購入に関する問い合わせが多く見られる。（不動産）

雇用情勢 7～9月期

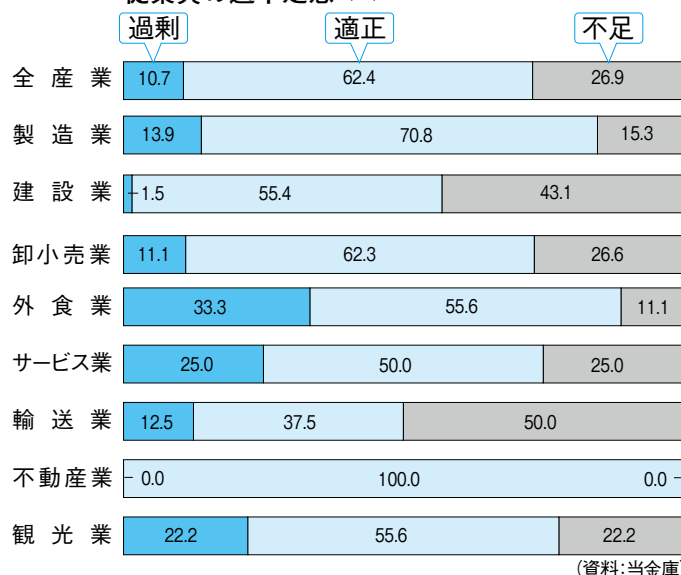
輸送が悪化、サービス・不動産・観光が改善

従業員の過不足感（「過剰」－「不足」）は、全産業で▲16となり、前回（▲13）より3ポイント改善しています。

雇用情勢（「過剰」－「不足」）

業 種	前期（4～6月）	今期（7～9月）
全産業	▲13.3	▲16.2
製造業	+4.3	▲1.4
建設業	▲33.9	▲41.6
卸小売業	▲20.0	▲15.5
外食業	+28.6	+22.2
サービス業	▲28.6	±0
輸送業	±0	▲37.5
不動産業	▲10.0	±0
観光業	▲10.0	±0

従業員の過不足感（％）



資金繰り 7～9月期

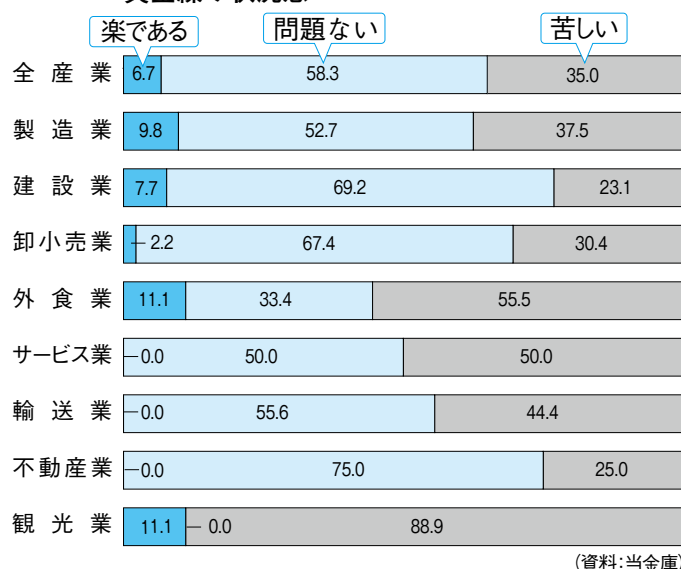
外食・サービス・不動産が悪化、輸送は改善

資金繰り状況判断（「楽である」－「苦しい」）は、全産業で▲28となり、前回（▲34）より6ポイント改善しています。

資金繰り（「楽である」－「苦しい」）

業 種	前期（4～6月）	今期（7～9月）	来期（10～12月）
全産業	▲33.5	▲28.3	▲28.3
製造業	▲38.0	▲27.7	▲30.5
建設業	▲22.9	▲15.4	▲18.5
卸小売業	▲34.9	▲28.2	▲24.5
外食業	▲37.5	▲44.4	▲50.0
サービス業	▲14.3	▲50.0	▲57.2
輸送業	▲50.0	▲44.4	▲44.4
不動産業	▲20.0	▲25.0	±0
観光業	▲70.0	▲77.8	▲66.6

資金繰り状況感（％）



販売価格動向 7～9月期

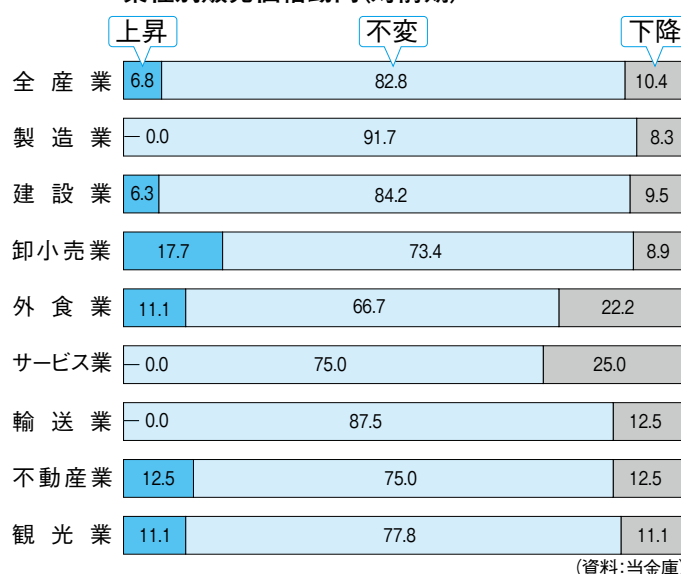
外食・不動産・観光が上昇、サービス・輸送は下降

販売価格動向（「上昇」－「下降」）は、全産業で▲4となり、前回（▲7）に比べ3ポイント改善しています。

販売価格動向（「上昇」－「下降」）

業 種	前期（4～6月）	今期（7～9月）	来期（10～12月）
全産業	▲7.4	▲3.6	▲5.9
製造業	▲7.0	▲8.3	▲11.1
建設業	+5.0	▲3.2	▲4.8
卸小売業	▲11.6	+8.8	▲2.2
外食業	▲50.0	▲11.1	▲12.5
サービス業	+14.3	▲25.0	▲16.7
輸送業	±0	▲12.5	±0
不動産業	▲30.0	±0	±0
観光業	▲30.0	±0	▲11.1

業種別販売価格動向(対前期)（％）



勤務体制の変化

「非常勤者の出勤日数・時間の調整」16%

「積極的な休暇取得の推進」15% 「残業や休日出勤の減少」14%

対応策①—勤務体制の変化 「変化なし」が6割を占めていますが、「パートやアルバイトの出勤日数や時間の調整」「積極的な休暇取得の推進」「残業や休日出勤の減少」が2ケタとなりました。

対応策②—雇用の変化 「影響なし」が前問と同率の6割を占めていますが、「要員削減等の雇用調整が必要」と「要員削減策は必要ないが新規採用に影響大」が1割前後となっています。

勤務体制の変化

「非常勤者の出勤日数や時間の調整」16%

「積極的な休暇取得の推進」15%

「残業や休日出勤の減少」14%

「特に変化なし」が6割を占めていますが、「パー

トやアルバイトの出勤日数や時間の調整」(16%)をはじめ「積極的な休暇取得の推進」(15%)、「残業や休日出勤の減少」(14%)が2ケタとなり、他に「在宅勤務や時差出勤等の導入」(7%)、「残業や休日出勤の増加」(1%)が挙げられました。

業種別

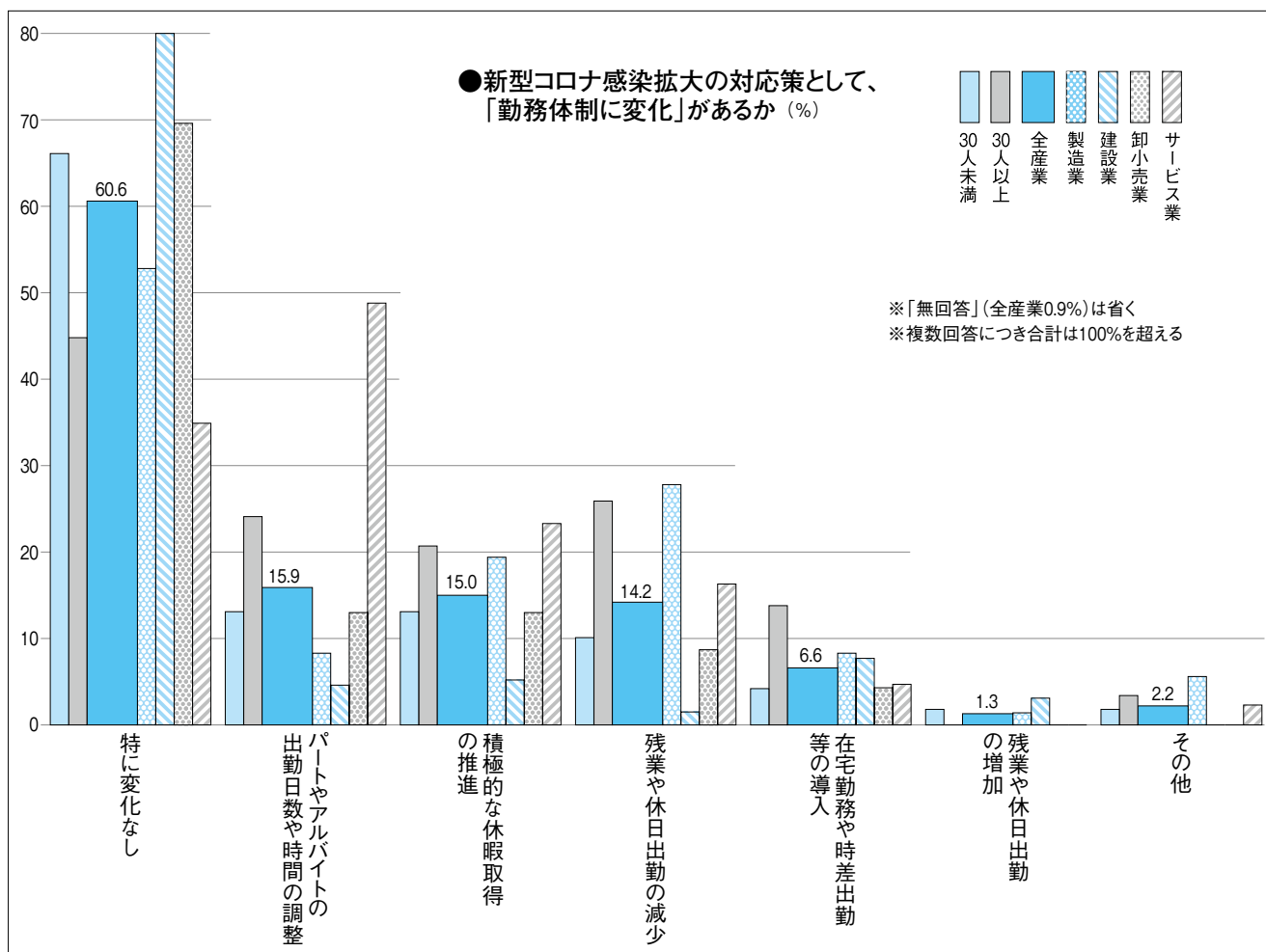
製造業「残業や休日出勤の減少」28%

建設業「残業や休日出勤の増加」3%

卸小売業「積極的な休暇取得の推進」13%

サービス業「非常勤者の出勤日数や時間の調整」49%

製造業 「残業や休日出勤の減少」(28%)と「在宅勤務や時差出勤等の導入」(8%)は他業種に比べて最も高くなりました。



建設業 「残業や休日出勤の増加」(3%)が他業種に比べて最も高くなっています。他方「積極的な休暇取得の推進」(6%)、「非常勤者の出勤日数や時間の調整」(5%)、「残業や休日出勤の減少」(2%)は他業種に比べて最も低くなりました。

卸小売業 「在宅勤務や時差出勤等の導入」(4%)と「残業や休日出勤の増加」(0%)は他業種に比べて最も低くなっています。

サービス業 「非常勤者の出勤日数や時間の調整」(49%)と「積極的な休暇取得の推進」(23%)が他業種に比べて最も高く、「残業や休日出勤の増加」(0%)は他業種に比べて最も低くなっています。

雇用の変化

「要員削減等の雇用調整が必要」13%

「要員削減策は必要ないが新規採用に影響大」9%

「ビジネスチャンス拡大につき積極的採用」3%

「影響なし」が6割を占めていますが、「要員削減等の雇用調整が必要」(13%)、「要員削減策は必要ないが新規採用に影響大」(9%)、「ビジネスチ

ャンス拡大につき積極的採用」(3%)、「分からない」(11%)、「その他」(2%)となりました。

業種別

製造業 「要員削減策は必要ないが新規採用に影響大」13%

建設業 「影響なし」75%

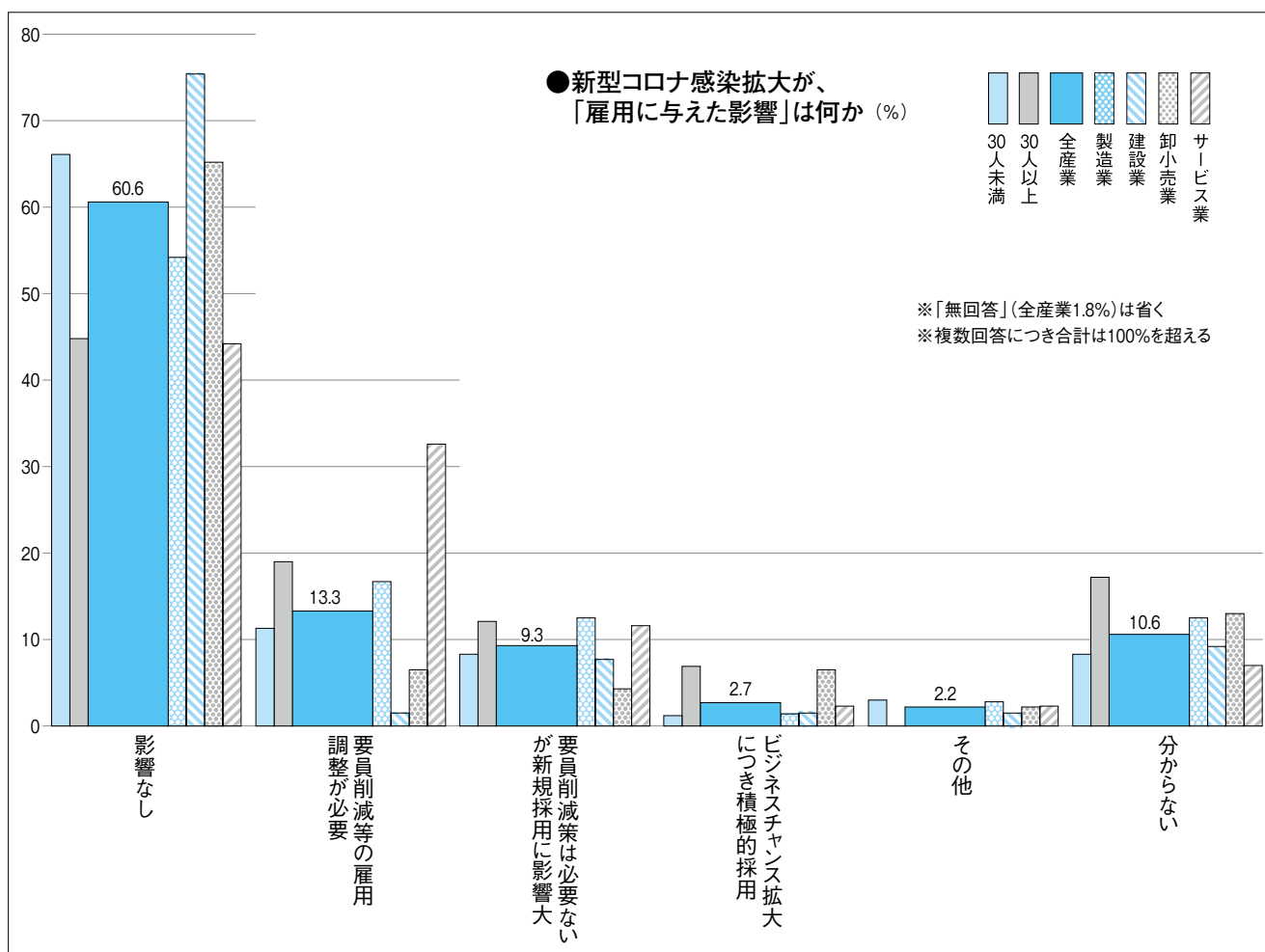
卸小売業 「ビジネスチャンス拡大につき積極的採用」7%

サービス業 「要員削減等の雇用調整が必要」33%

製造業 「要員削減策は必要ないが新規採用に影響大」(13%)が他業種に比べて最も高くなり、他方「ビジネスチャンス拡大につき積極的採用」(1%)は他業種に比べて最も低くなりました。

建設業 「影響なし」(75%)が他業種に比べて最も高くなり、他方「要員削減等の雇用調整が必要」(2%)、は他業種に比べて最も低くなりました。

卸小売業 「ビジネスチャンス拡大につき積極的採用」(7%)と「分からない」(13%)は他業種に比べて最も高くなっています。他方「要員削減策は必要ないが新規採用に影響大」(4%)は他業種に比べて最も低くなりました。



サービス業 「要員削減等の雇用調整が必要」(33%)が他業種に比べて最も高く、他方「影響なし」(44%)と「分からない」(7%)は他業種に比べて最も低くなっています

◇次号は、新型コロナウイルス感染症で「実施・申請した経営支援策」「サプライチェーンや事業活動に及ぼしている影響」を予定

[調査要領]

実施期日：2020年9月上旬～中旬

実施要領：第181回景況アンケート調査に併記

調査企業：回収226社(製造業72社、建設業65社、

卸小売業46社、サービス業43社)

うち従業員30人未満168社(74.3%)

「新型コロナウイルス感染症」に関する企業からのコメント

製造業

◇観光の土産品は今後も見込めない。外食関連も増加には時間がかかると思う。いま出来ることをするしかないで、通信販売に力を入れている。(味噌・漬物)

◇コロナ禍の影響による売上減少より、社内の感染者発生による休業リスクを懸念している。

(パン・おやき)

◇観光産業に力を注いできたので、大きな影響を受けた。しかし、新たな産業への参加はとてリスクが大きく踏み出せない。(そば)

◇指定感染症を一刻も早く外すべき。(畜産用棚)

◇Withコロナと言われているが、どう対応して良いか分からない。景気低迷が長期的に続くことが心配で仕方ない。(電気機械)

◇先行きが見えない状況なので、当面は公的な支援策などを活用しながら対応していくつもりでいる。(プラスチック製品)

◇感染症が鎮静化したとしても、業界が求める「低コスト」と「省人化」への流れは変わらない。業界のニーズに対応できる商品の開発が急務である。

(パチンコ用ケース)

◇経営状態は業種により規模や時間に差があるので、多様な支えの仕組みが欲しい。(眼科用検査器具)

建設業

◇公共事業、受注工事の減少が予想される。また、職人の減少によって円滑に作業ができない。

◇気を緩めることなく、各自が出来る予防策を講じていく。それは、コロナと共存していく覚悟につながり、雇用の維持や経済活動との両立となる。

◇コロナ感染防止に注意を払うとともに、感染者発生時の対応をBCP(事業継続計画)に盛り込み、現場業務を極力止めない体制を構築する。

◇今年末、来年末、コロナ融資返済開始の3年後に、段階的な淘汰の波が来ると思う。(以上総合建設)

◇コロナ禍により外出する機会が減り、住宅に目を向ける人たちが増えている。この機会をチャンスに変えたいと思う。(建築)

◇コロナ禍は不透明な生活と経済状況の中で、個人・法人ともに今までの生活様式や経営活動を見直すチャンスと捉え、「経営資源」の再点検を実施していく。(内装工事)

卸小売業

◇飲食業界は、コロナ禍の影響を受けても、営業を続けるしか道はないだろう。(青果卸)

◇消費税の減税など、長期的に消費を促進する「国の大型経済対策」に期待したい。(建築資材卸)

◇コロナが収束しても、間違いなくこれまでと同様には戻らないだろう。営業方法や品目などを大幅に見直す必要があると思う。(建設金物)

◇コロナ禍で店売りは減少するも、インターネット販売は増加しており、当面はネット上での広告を積極的に活用していく予定。(衣料品小売)

◇今後、自動車の販売台数がさらに減少していくだろうと懸念している。(自動車)

◇コロナの収束がどのような形になるか不透明で、我慢比べになる。今は基本に立ち返るだけ。(土産品)

サービス業

◇運行の制約(運転手の感染予防、庸車の運行先限定)が多く、年計画の確保が厳しい状況。

◇今回のコロナの影響で、あらゆる分野で世界水準と比べ、我が国のIT化が遅れていることが露呈した。官民挙げてのDX(デジタルによる改革)推進が必要だと考える。(以上貨物運送)

◇再来年の善光寺御開帳までには、コロナが何とかなってほしい。(そば)

◇今後も客足の減少は続くと思うが、客単価の増策などでしのいでいきたい。(ホテル)

「巣ごもり生活」で関心が高まったこと・新たに始めたこと

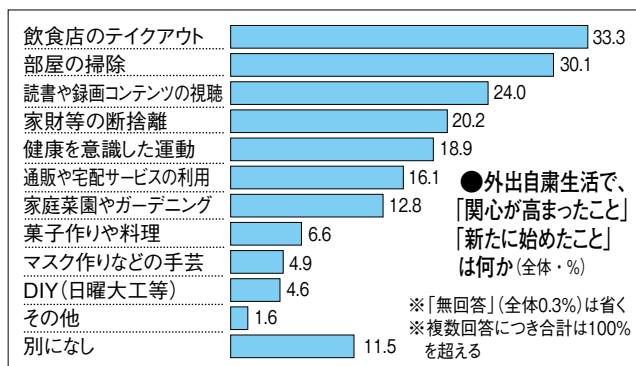
「飲食店のテイクアウト」33% 「部屋の掃除」30% 「読書・録画コンテンツの視聴」24%

「外出自粛(巣ごもり生活)の中で、関心が高まったこと、新たに始めたこと」を聞きました。

1位は「飲食店のテイクアウト」、2位は「部屋の掃除」でともに3割台、3位は「読書や録画コンテンツの視聴」、4位は「家財等の断捨離」でともに2割台、5位は「健康を意識した運動」、6位は「通販や宅配サービスの利用」でともに1割台となっています。7位は「家庭菜園やガーデニング」(13%)でした。

男女別で見ると、男性の上位は「飲食店のテイクアウト」「読書や録画コンテンツの視聴」「健康を意識した運動」「部屋の掃除」で、女性の上位は、「部屋の掃除」「飲食店のテイクアウト」「家財等の断捨離」となっています。

世代別で見ると、10～20代は「読書や録画コンテンツの視聴」「飲食店のテイクアウト」「部屋の掃除」、30～40代は「飲食店のテイクアウト」「部屋の掃除」「読書や録画コンテンツの視聴」、50代以上は「部屋



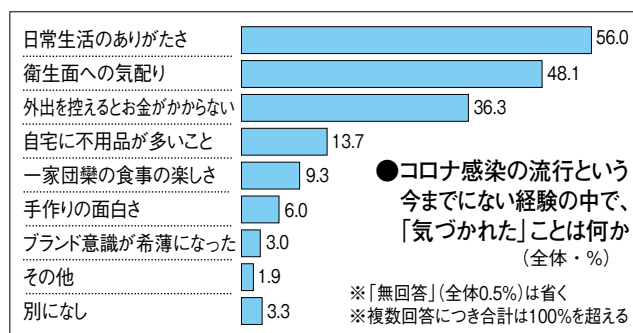
の掃除」と「飲食店のテイクアウト」(同率1位)、「家財等の断捨離」の順となりました。

「日常生活のありがたさ」56%

「新型コロナウイルス感染症の流行の中で気づかれたこと」を聞きました。

1～3位は「日常生活のありがたさ」(56%)、「衛生面の気配り」(48%)、「外出を控えるとお金がかからない」(36%)で、「自宅に不要品が多いこと」(14%)が4位、5位は「一家団楽の食事の楽しさ」(9%)でした。

男女別ではほぼ同傾向ですが、世代別では、10～20代は1～3位の順位が微妙に異なり、「衛生面の気配り」(45%)がトップとなっています。



【調査要領】

実施期日：2020年9月上旬～中旬

実施場所：長野信用金庫本支店窓口

対象者：来店客366人(男性224人・女性142人)

調査要領：アンケート用紙に記述(無記名)

「新型コロナウイルス感染症」に関する生活者からのコメント

- ◇新しい生活様式や新しい働き方など、世の中への浸透が早く進めばいいと思う。コロナ禍も半年が過ぎればこの状況に慣れてきた。今後もこの生活が当たり前の生活になっていくと思う。(20代男性)
- ◇「マスクをしなくてもよい生活」に、早く戻りたいと思う。(20代女性)
- ◇家で過ごす時間が増えたので、家族の絆が以前より強まったと思う。
- ◇地方都市では、東京などのイベントに参加することが出来なくなり、オンラインでの代替えがないと取り残されそうだ。(以上30代男性)
- ◇「こんな時勢ですから」というフレーズも、付き合いを減らす際に便利に感じることもある。(40代男性)
- ◇コロナ感染予防の考え方で、友人や近所の人たちと

- 大きな差があることが気がかり。(40代女性)
- ◇指定感染症から一刻も早く外すべき、子どもたちの教育の機会が減少することは論外。(50代男性)
- ◇目に見えないウイルスとの戦いとその恐怖、規制される日常生活。数十年の人生初の経験だが、新しい生活様式とともに、一日も早く終息することを願う。
- ◇コロナ対策の国の支出は、将来、国民の税負担の増加になると思う。(以上50代女性)
- ◇地方では、コロナに感染することより、感染したことで起こる周囲の反応や風評被害の方が怖いと思う。
- ◇子どもの帰省が中止となり、孫と会えないことが一番辛い。来年はどうなるのだろうか。(以上60代女性)
- ◇国内旅行が好きにでき、映画を自由に観られる日が、早く来てほしい。(60代男性)

北信濃 江戸時代の風景

(74) 伊能忠敬、稲荷山宿から善光寺宿へ

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



今年度は伊能忠敬の『測量日記』を読みながら、北信濃の伊能忠敬の足跡をたどります。また伊能忠敬が作成した「大日本沿海輿地全図」(大図)の該当部分を紹介します。

伊能忠敬の測量隊が、享和2年(1802)10月の第1回に引き続き、2回目に北信濃を測量したのは、12年後の文化11年(1814)のことでした。飛騨から野麦峠(松本市奈川)を越えて信州に入った一行は、4月28日(現在の暦で6月16日)に稲荷山宿(千曲市稲荷山)に宿泊しました。

伊能忠敬の『測量日記』より

4月29日(現在の暦で6月17日)

先発直行隊

善光寺宿に直行する先発隊4名は、六つ時(午前6時)に稲荷山宿を出発しました。塩崎村(長野市篠ノ井塩崎)の上町には、左側に浄土宗の天用

寺があります。山崎で聖川の仮橋を渡って、平久保に入ります。篠野井(塩崎上篠ノ井)は立場で、江戸と京都への追分です。

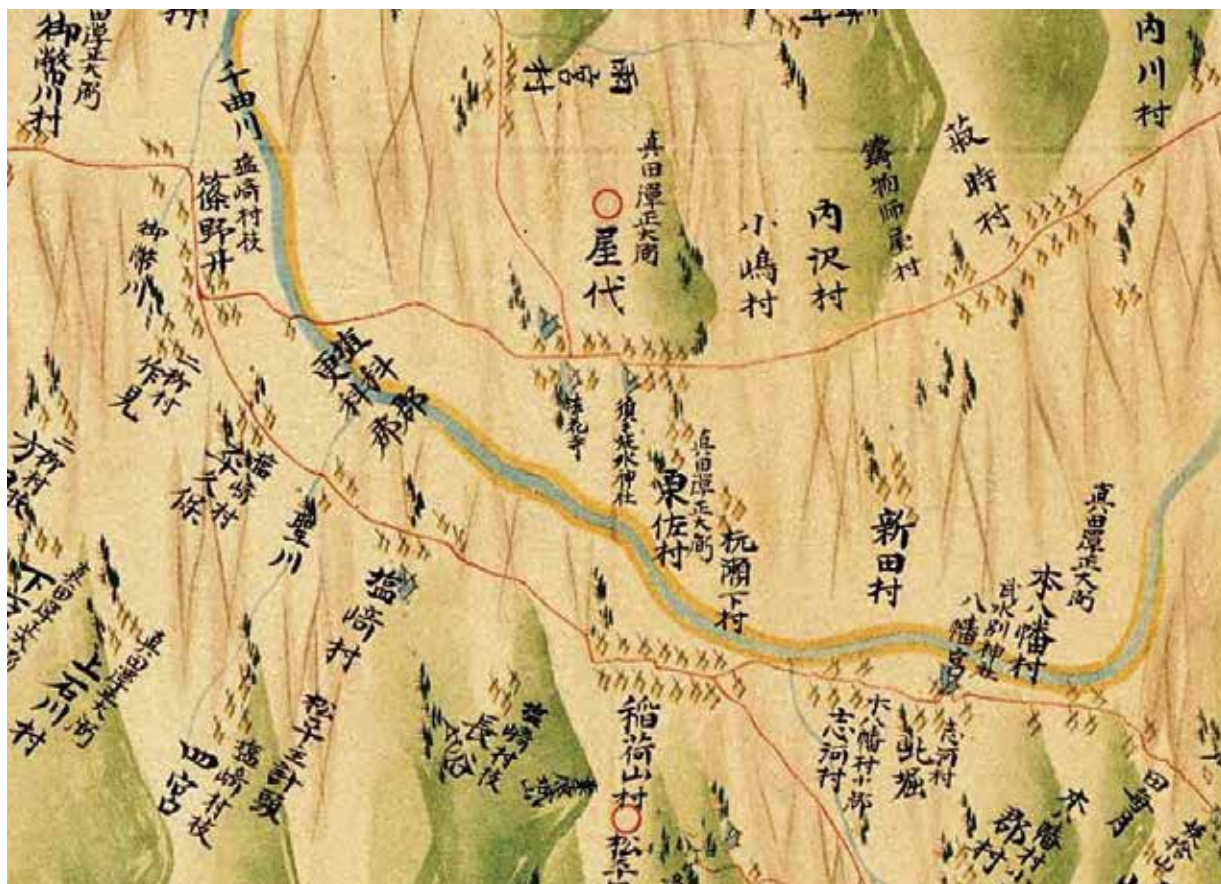
このあたりまでを測量し、この先は過去に測量しているので、今回は測量せずに先を急ぎます。丹波島宿の間屋で休み、善光寺の門前町に着いたのは九つ時(正午)でした。

伊能忠敬の本隊

伊能忠敬の率いる本隊は、同じく六つ時に稲荷山宿を出発し、新田町(治田町)まで戻って姨捨までの道を測量しました。

水のない川(佐野川)を渡って、八幡村の枝村の志川と北堀を過ぎると、八幡の八幡宮があります。ここは延喜式内の武水別神社で、応神天皇、神功皇后、玉依姫命をまつっています。祭日は8月15日です。神領は200石で、内訳は別当の神宮寺が100石、神主の松田左膳が100石となっています。

国立国会図書館蔵「大日本沿海輿地全図」(大図)より



他に寺中が6院、社家が3軒あります。裏門から入り、境内を抜けて、表門の鳥居前へ出ました。

姨捨山へ

八幡村本村の家並みを抜け、小流の更級川を渡ると、右側に諏訪の小社(斎森神社)があり、榎の大木があります。やがて右手に田毎の月の千枚田が広がり、左手には小袋石、姪石があります。月見堂への登り口に、芭蕉塚「おもかげや姨ひとりなく月の友」があります。

姪石は高さ10間(18メートル)、横7間(12.6メートル)

ほどで、ここから見る山々や千曲川は絶景です。ここには天台宗の姨捨山長楽寺があります。

善光寺まで

姨捨山から稲荷山宿に引き返し、篠野井追分の柳屋甚之丞で昼休みを取りました。八つ時半(午後3時)には善光寺大門町の本陣藤屋平五郎に到着しました。

『大日本沿海輿地全図』(大図)を見る

『大日本沿海輿地全図』の、篠野井追分(左上)から姨捨山(右下)までの部分です。左が北で、山や家などは北から見たように描かれています。カの子のように見えるのが人家で、屋根が塗られているのが寺社です。伊能忠敬の測量隊が歩いた道は、細い線で表されています。

中央を千曲川が流れ、真中のやや下に稲荷山宿があります。この宿場は南北に一直線ではなく、途中にクランク状の曲がり描かれています。伊能忠敬らが宿泊した本陣兼問屋の松木家はこの付近にありました。

稲荷山宿から姨捨へ

稲荷山宿の出口の追分は、右へ行くと松本方面に向かう北国西街道(善光寺街道)です。左の道は、千曲川の支流佐野川を渡って「本八幡村小郷志河村」(千曲市八幡志川)に入ります。千曲川の対岸に向八幡村(千曲市中・小船山)があるため、八幡



現在の篠ノ井追分。善光寺(左下)から来た道が、江戸方面(左)と上方方面(右)に分岐する

村は「本八幡村」とも呼ばれていました。「志河村」(志川村)はその「小郷」(枝村)なのです。

続いて「志河村北堀」(千曲市八幡北堀)があります。向かい側に神社が描かれていて、「武水別神社八幡宮」と書かれています。この神社は通称八幡宮ですが、平安時代の『延喜式』に記された「武水別神社」が正式名称です。「本八幡村」の前に「真田弾正大弼」とあるのは、この村が松代藩領であることを示しています。

稲荷山宿から篠野井まで

稲荷山宿を北に出ると、旗本「松平主計頭」領の塩崎村(長野市篠ノ井塩崎)です。「聖川」を渡り、枝村の「平久保」を経て「篠野井」(塩崎上篠ノ井)に入ります。ここは江戸方面との追分です。

伊能忠敬の測量データ(『大日本沿海実測録』より)

稲荷山宿～篠野井 1里1町22間(約4076m)

篠野井～丹波島宿 1里34町26間(約7684m)

丹波島宿～善光寺大門町 1里13町20間(約5382m)

(1里=36町、1町=60間)

11月号は「伊能忠敬、善光寺宿から浅野宿へ」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫について](#)

「新型コロナウイルス感染症」で
影響を受けている
事業者さま向け

万相談会

実施期間…令和2年10月2日(金)～12月25日(金)

●9:30～12:00 ●13:00～15:30

毎週金曜日

長野しんきん
本店営業部

TEL
026-225-0225
長野市居町133-1

パソコン・タブレット・スマートフォンで
ご参加いただけます

リモート万相談会

◆開催日

- 【第1回】令和2年10月21日(水)
- 【第2回】令和2年11月11日(水)
- 【第3回】令和2年11月18日(水)
- 【第4回】令和2年12月9日(水)

◆時間

- ① 9:30～10:00
- ② 10:30～11:00
- ③ 11:30～12:00
- ④ 13:00～13:30
- ⑤ 14:00～14:30
- ⑥ 15:00～15:30

相談内容 ◆雇用関係 ◆テレワーク
◆資金繰り ◆その他経営全般

各回
30分
無料

INPIT×長野しんきん 知財サポートサービス

長野信用金庫では、皆さまの順調な発展・成長を
ご支援するために、INPIT長野県知財総合支援窓
口と連携し、専門家を派遣して知的財産に関する
あらゆる課題・悩みについての相談を承ります。

こんなことにお困りではありませんか？

当金庫では知財に関する

無料相談を実施しています。

特許出願や商
標登録をした
いけれど、ど
うすればいい
の？

自社の技術を
活かして、独
自製品を開発
したい！

他社との共同
研究で製品開
発したいけれ
ど、注意する
ことは？

◆相談場所：INPITアドバイザーがお客様の
事務所へ伺います。

(INPIT長野県知財総合支援窓口でも相談可能)

◆相談料：無料

◆ご希望日の1週間前までに、長野しんきんの
最寄りの店舗窓口までお申し出ください。

万相談会・リモート万相談会は

公益財団法人 長野県中小企業振興センター「長野県よろず支援拠点コーディネーター」がご相談を承ります。

予約お申込方法：お取引されている店舗または最寄りの店舗までお申込みください

お問合せ先：TEL 026-228-0221 長野信用金庫 下平・和田

●みなさまの税務相談のご案内[11月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
11月4日 水	大豆島支店 (長池支店)		11月18日 水	大門町支店 (桜枝町支店)	善光寺下支店 (権堂支店)
6日 金	城北支店 (若槻支店)	柳原支店 (東長野支店)	19日 木	若穂支店	小布施支店 (中野支店)
9日 月	屋代支店 (稲荷山支店)	戸倉支店 (上山田支店・坂城支店)	24日 火	墨坂支店 (須坂支店・太子町支店)	飯山支店 (山ノ内支店)
11日 水	南支店 (七瀬支店)	吉田支店 (古里支店)	26日 木	本店営業部	
12日 木	篠ノ井支店 (川柳支店)	川中島駅前支店 (川中島支店)	27日 金	本 部	
13日 金	更北支店 (松代支店)	伊勢宮支店 (石堂支店)	30日 月	本 部	

●11月の「しんきん事業相談会」は11月4日(水)です



長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>

